

普及活動情勢報告（令和4年5月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

ニラ定植！篤農家の定植技術を学ぶ

～（公財）いの町農業公社新規栽培指導者への栽培研修会（定植等）～



4月18日、（公財）いの町農業公社の若手研修指導者を対象にニラ定植研修会を行いました。農業改良普及課はニラの定植の深さ等について説明を行い、篤農家は定植前に苗箱の根を切ることや、定植後のかん水について指導を行いました。

篤農家の指導の場を設けたことで、篤農家のほ場と比べて公社の土作りに課題があることなども分かりました。若手研修指導者からは、「土作りをしっかりとする必要がわかった」等の感想がありました。

農業改良普及課は、今後も篤農家と連携し栽培時期に合ったニラ栽培技術の習得に向け支援していきます。

ミナミキイロアザミウマの発生にご注意！

～土佐市高岡でメロン品種現地検討会を開催～



4月18日、土佐市高岡のメロンほ場で種苗会社の研究員を招き、生産者4人で現地検討会を行いました。農業改良普及課からは野外のアザミウマ類の増加に伴いハウス内での発生に注意することや、登録のある薬剤について説明をしました。

参加者からは、新しく適用拡大された薬剤の成分や効果などの詳細について質問が出されました。

例年、5月末から7月上旬にかけて野外のアザミウマ類がピークを迎えるため、農業改良普及課は、引き続き注意を呼びかけ、メロンの品質低下を防止するよう働きかけていきます。

ドローン空撮データに基づく早期病虫害防除や適正肥培管理に向けて

～土佐市ショウガスマート農業協議会を開催～



5月12日、土佐市ショウガスマート農業協議会が、JA部会役員3人と関係機関10人参加のもと農業振興センターで開催され、R3年度の活動実績等が協議されました。

役員からは、「今年度も撮影ほ場等の調査に協力する」「部会でドローンを購入したため、頻繁に空撮して欲しい」などの意見が出されました。

また、今年度も土佐市ショウガスマート農業協議会の活動を続けていくことで合意を得ることができました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携しながら、スマート農業の導入・推進について検討していきます。

中山間地域での収入源を探索！

～いの町七色の里営農組合が総会を開催～



5月12日、いの町七色の里で七色の里営農組合総会が組合員8人が参加して開催されました。本年度事業計画案が話し合われる中で、実証ほ場で栽培する新規品目であるカボチャの一種「バターナッツ」について、農業改良普及課が説明を行いました。

参加者からは「マルチを用いるのか？」「収穫適期の見極め方は？」等、活発な質疑が行われ、新品目の栽培に意欲を高めることができました。

農業改良普及課は、引き続き中山間地域の安定した収入源となる品目の導入支援を行っていきます。

地元住民と協力した食農教育の実施
～土佐市高石小学校で稲作体験学習を地元協議会が開催～



4月28日、土佐市高石小学校5年生の児童8人が学校に隣接した水田で田植えを行いました。農業改良普及課は高石地区青少年育成協議会や土佐市土地改良区と体験学習実施に向けた打合せを行いながら代掻きや児童との顔合わせ等の準備段階から支援しました。

田植え当日は、農業改良普及課から「お茶碗一杯のお米を作るのに、300～400ℓの水が必要」と説明したところ、児童からは「そんなに!」と驚きの声があがり、その後の土地改良区からの「水の大切さを知ってもらおう」話にもスムーズに繋げることができました。

今後も農業改良普及課は、さまざまな機会を通じて食農教育を支援していきます。